

maxonエンコーダコネクタ (DIN41651 / EN60603-13) の 嵌合相手について

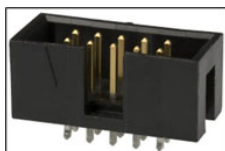
maxonのエンコーダの多くは、「DIN41651 / EN60603-13」規格のコネクタがあらかじめ取り付けられておりますが、
これの嵌合相手の一例をご紹介します。

なお本書は、機能や動作をmaxonが保証するものではないことを予めご了承ください。

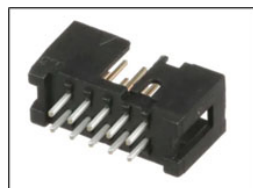
1. 現在のmaxon ENXエンコーダ、 ENXエンコーダなどに使われているコネクタの嵌合相手
(TE Connectivity : 1-215915-0 の嵌合相手)



例1-1 : TE Connectivity社 : 5104338-1 基板接続用ピンヘッダ 10極 2.54mm 2列



例1-2 : 3M社
N2510-6002など
(ストレートタイプ)



N2510-5002など
(ライトアングルタイプ)



N2510-6VOCなど
(SMTタイプ)



※3M社のN2510シリーズは、別売りのコネクタリテーナー「3505-8010」を使うことによって、コネクタ抜けを防止することができます。(maxonでは販売しておりません)

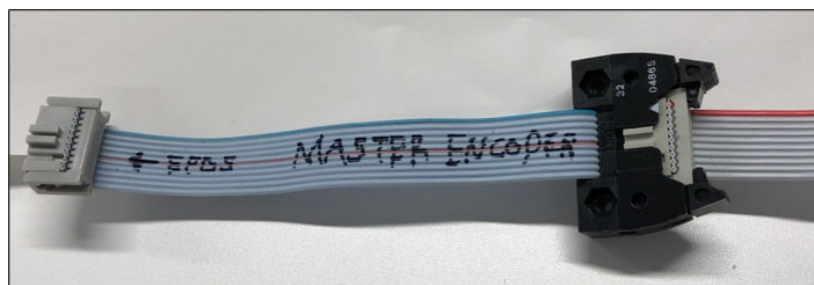


N2510-6VOCとリテーナー「3505-8010」の組合せ

例1-3 : Omron社 : XG4E-1032



MIL規格(MIL-C-83503)に準拠で、フラットケーブルを圧接結線してハーネスするタイプのコネクタです。
10線のフラットケーブルの中継用(延長用)として使うことができます。



2. 現在のmaxon HEDLエンコーダ、 AEDLエンコーダに使われてれているコネクタの嵌合相手
(Amphenol ICC(FCI) : 66564-810LF の嵌合相手)



例2-1 : Amphenol ICC(FCI) 社
75869-101LFなど

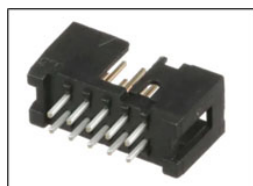


75867-101LFなど



例2-2 : 3M社 (例1-2と同じものです)

N2510-6002など
(ストレートタイプ)



N2510-5002など
(ライトアングルタイプ)



N2510-6VOCなど
(SMTタイプ)



※3M社のN2510シリーズは、別売りのコネクタリテーナー「3505-8110」を使うことによって、コネクタ抜けを防止することができます。(maxonでは販売しておりません。ただし、「520859_EPOS4コネクタセット」には、この「3505-8110」リテーナーが一つ入っております。)

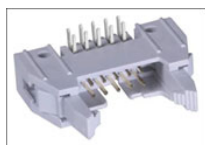


N2510-6VOCとリテーナー「3505-8010」の組合せ

例2-3 : Amphenol ICC (FCI) 社
71918-110LF



71922-110LF



例2-4 : 日本航空電子 (JAE)

PS-10PE-D4LT2-M1AE (写真、ライトアングルタイプ)、
あるいは、PS-10PE-D4T2-M1AE (ストレートタイプ)



上記の製品に限らず、2.54mmピッチ、2列、10ピンのものであれば、多くのものをお使いいただくことができます。

なお、maxon製エンコーダに取り付けられているコネクタは、コネクタの生産終了などの理由で将来的に変更される可能性があります。